

速報

**総会準備委員会に17校が参加！**

- きょう（6月1日）文化学園国際会議室で、6月30日（金）に行われる総会に向けての第1回準備委員会が開かれました。全国専門学校日本語教育協会（全専日協）の新しい体制づくりを進める重要な委員会です。これまで理事をされてきた学校と、3回開かれた専門学校部会に参加された学校に呼びかけたところ、17校が参加されました。学生募集の時期と重なりながらも集まった皆さんからは、新しい事業案や体制づくりに対する熱意が感じられました。



- 第1回の準備委員会に参加された学校は次の通りです。

盛岡情報ビジネス専門学校	京都コンピュータ学院鴨川校
中央情報経理専門学校高崎校	大阪バイオメディカル専門学校
東京外語専門学校	ECC国際外語専門学校
日本外国語専門学校	清風情報工科学院
専門学校アジアアフリカ語学院	福岡外語専門学校
外語ビジネス専門学校	福岡国際コミュニケーション専門学校
岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校	専門学校湖東カレッジ唐人町校
横浜デザイン学院	文化外国語専門学校
保育・介護・ビジネス名古屋専門学校	

- 最初に、深堀和子元副会長から「遠くからも参加して頂きありがとうございます。日本語教育に注目が集まっている今、ご一緒により良い団体を作って参りましょう」と挨拶がありました。続いて委員の皆さんから、各校の特長や新しい協会に期待することなどを伺いました。盛岡から熊本まで全国にお仲間がいることを実感しました。



- この後、話し合いに移り、まず総会が行われる6月30日の日程を確認しました。総会に続く「2つの企画」については次号で詳しくお伝えします。

- 続いて「総会に提出する議題」について意見交換が行われました。

- 1) 平成29年度事業計画・・・協会の目的である「情報の共有化」「教育力の向上」に沿った委員会を設ける。自己点検・評価、第三者評価など「質保証」に関してもしっかりと取り組むべきだという意見も出されました。
- 2) 平成29年度収支計画・・・正会員数として40校が見込まれるため、正会員の会費を6万円とすることで、収入を250万円前後とする。支出では、HPやパンフレットを新しくし協会の広報に力を入れることなどについて話し合いました。会費以外の収入にも知恵を絞ろうという意見もありました。
- 3) 会則・・・主なポイントとして「会長の下に副会長3～7名、理事7～20名おく」「正会員の他に連携会員、特別会員を設け、協会の目的を理解する学校を幅広く結集する」という方向で話し合いが行われました。それぞれの会員の定義や入会方法などについて活発な意見が交わされました。

(議論をもとに修正した「事業計画」「会則」は近々発信！)

- 4) 役員体制・・・新しい役員は、準備委員会のメンバーを中心に、協会の事業を共に推進する意欲のある会員の中から選ぶことで一致しました。正式には準備委員会の推薦により会長を選任し、そのうえで理事、監事、副会長を選ぶこととなりますが、その素案は、本日の準備委員会での話し合いをもとに作成することが、拍手で承認されました。

- 準備委員会の締めくくりは、熊本から参加して下さった森敏子先生のお話しでした。「留学生のために良い協会にしましょう。」この言葉が、皆の気持ちの全てでした。きのうの準備委員会は、穏やかな中にも皆さんの情熱がこもっていました。このあとは、クールダウンの冷たい飲み物がしみいる懇親会でした。



2017年6月2日

全国専門学校日本語教育協会  
ニュースレター担当